

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		まなび家		公表日		令和7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動的な子が多い日は公園に行くなどしています。	スペースには余裕がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		最低でも利用者3名に対して、必ずスタッフ1名を配置し、個別にサポートが必要な利用者がいる場合、増員している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		施設内はバリアフリーで建築されている。また、利用者に分かりやすいように適切場所に張り紙やパネルなどを貼っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		学習支援室、生活支援室を分け、開所時の点検や閉所時の除菌殺菌清掃をチェック表に記入しながら、管理を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		集中したいときやクールダウンなど、必要に応じて、利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		支援時間、送迎時間、共にヒヤリハット提出の強化を行い、月に一度、必ず、全体ミーティングで話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		日々の日報への投稿やメール、電話でのご意見や苦情の受付、対応などをスタッフ全員で把握し話し合い、改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	月一回必ず全体ミーティングあり。	普段はteamsで連携を取り合い、月に一度の全体ミーティングでは質疑応答の時間も設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		現在、第三者委員会や外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		職務に関連する研修には支援制度があり、スタッフ全体では、月に一度の全体ミーティングの後に内部研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		利用者の環境の変化があった時期や年に2回のモニタリングごとに個別支援計画書を作成し回覧によってスタッフ全員に周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		相談支援事業所からの利用計画書も踏まえ、利用者のニーズや課題を分析し計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		利用者の環境の変化があった時期や年に2回のモニタリング後に個別支援計画書を作成し回覧によってスタッフ全員に周知している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		個々の特性に合った計画は回覧の後、保管している個人ファイルでいつでも閲覧し取り組んでいる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		利用者の日々の療育日誌を共有し、確認をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		保護者や利用者から五領域を踏まえた支援の要望や、目標を聞き、支援に必要な項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		様々な意見を出し合い、話し合いをしてプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		時代の流れや流行なども考慮しながら、利用者の成長にあわせて工夫をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	利用者のペースに合わせ、個別、集団支援を配慮し、年齢、性別などに拘らず、いろんな人たちとの関わりの機会を設けている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	就業前ミーティングは必ず、行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返りができない場合は、全員参加のteamsを使用し当日の報告や気付きを共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	WEB システムを導入しているので、支援の内容は日々、記録できており、検証、改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	利用者の環境の変化があった時期や年に2回のモニタリング後に個別支援計画書を作成し回覧によってスタッフ全員に周知している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	利用者の特性に合わせた内容で、自立、体験、交流、参加を組み合わせ支援を行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己決定が難しい利用者には、決定するためのサポート体制を整え、アドバイスやいくつかの選択肢の提示なども行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	必ず、普段からの関わりが多いスタッフが参加するようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて、担当者会議やケース会議などを行い、モニタリング時は見学受け入れもしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	利用者のスケジュールを学校、保護者と共有し施設利用日程なども共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	次年度から受け入れる予定の利用者に対して今後行っていく予定です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業後に社会資源を利用する必要がある利用者に対して、必ず情報提供を置かっている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	地域の児童発達支援センターとの連携は現在はありませんが、必要に応じてYouTubeなどを利用して学習をしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	他事業所との合同イベントや市主催のイベントなどの参加をしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	自立支援の協議会の認識がありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時の会話やWEBシステムの投稿やショートメールなどを利用して、常に情報共有をしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	ペアレント・トレーニング等、今年になって知りました。ご家族にもご案内をしていきます。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学時や体験時、契約時に説明をしたうえで質問等にもお立てさせていただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日々の療育日誌への投稿や、ショートメールの他モニタリングを通じて確認を行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援計画書をご覧いただき、確認いただいた後、ご署名をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	ご希望に応じて家庭訪問や事業所内相談を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催は今はできていません。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		日々の日報への投稿やメール、電話でのご意見や苦情の受付、対応は迅速に行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		ホームページやInstagram、ショートメールなどを利用して、公開をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		情報書類は鍵付き書庫、写真の投稿などは個人を特定できないよう、配慮をしています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		利用者に対しても保護者に対しても特性を弁えたうえで、ご本人の状況に合わせて配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		現在、事業所の事業に地域住民を招待するなどの計画はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		各種のマニュアルはすでに策定、周知しており、今後も訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		業務継続計画（BCP）を策定しており、マニュアルあり。年間行事の予定にも入れている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		利用者の個人ファイルを作成し、プロフィールや病歴、服薬、発作など、スタッフ全員が把握し、対応できるようにしている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		利用者の個人ファイルを作成し、プロフィールや病歴、服薬、発作など、スタッフ全員が把握し、対応できるようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		安全計画作成あり。年間計画に研修、訓練の予定を入れ、実施して行く。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知が今までできていなかったため、今後は、周知していく所存です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		支援時間、送迎時間、共にヒヤリハット提出の強化を行い、月に一度、必ず、全体ミーティングで話し合いを行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		毎年、必ず虐待防止研修を行なっています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		契約書類の重要事項説明書にも提示し理解をいただいています。	